

■全腎協の請願が 3 年連続して衆参両院採択

通常国会が 6 月 1 日に閉幕し、昨秋から全国で取り組んできた全腎協の「腎疾患総合対策の早期確立に関する請願」が、衆参両議院の厚生労働委員会で採択され、内閣へ送付されました。衆参両院での採択は 3 年連続になります。

取り組んでくださった全国の皆さんへ改めてお礼申し上げます。



■日本透析医学会で透析患者数（速報値）が明らかに

日本透析医学会が 6 月 10 日から 12 日まで大阪市で開かれ、同学会が行った 2015 年 12 月末現在の透析患者の調査結果（速報値）が公表されました。

全国の透析患者総数は 32 万 4,416 人、導入患者数は 3 万 9,402 人でした（囲み参照）。速報値のため単純に比較することはできませんが、2014 年末の透析患者総数は 32 万 448 人でしたので、増加数は 3,970 人と 5000 台を下回り、増加傾向は鈍化してきています。

確定値および都道府県別患者数等の詳細は 12 月に明らかになる予定です。

わが国の慢性透析療法の現況（速報値）

2015 年 12 月 31 日現在

施設数	4,313 施設	(17 施設減)
設備	ベッドサイドコンソール	133,219 台 (1,664 台増)
能力	同時透析	131,178 人 (1,318 人増)
最大収容能力		437,212 人 (4,779 人増)
慢性透析患者	324,416 人	
夜間	33,345 人	
在宅血液	567 人	(0.2%)
腹膜透析	7,439 人	(2.3%)
導入患者数	39,402 人	
死亡患者数	30,154 人	

日本透析医学会調べ